

リハビリの要素を取り入れた

機能的口腔ケアと 「ボトアフローチの実際

嚥下アプローチ編

日 時: 2025年4月20日(日) 10:00~16:10

開催形式: インターネット生ライブ中継 2週間見逃し視聴期間あり

講師:源間隆雄先生(札幌麻生脳神経外科病院)

対 象:看護師·PT·OT·ST(左記以外でも受講可)





「嚥下はリスクが高いから・・」と 攻めきれずに終わっていませんか?

嚥下のアセスメントはしてみたけれど、リスクを恐れて十分アプローチできずにいませんか? でも、リスクが高い症例でもきっとできることがあるはず。諦めずにアプローチを行うポイントは、「食形態」「口腔機能」「嚥下姿勢」の3方から攻めること。この講座では、最前線で嚥下ケアに奮闘するベテランが、多職種でできる3大アプローチの実践について解説。さああなたも、実践力を磨いて、積極的アプローチを身につけてみませんか?



積極的リハビリの要素を取り入れた 嚥下の3大アプローチ



Program

徹底したアセスメントによる食形態の決定方法

- ・嚥下調整食分類2021に基づくアプローチの具体策 臨床に落とし込むポイントはここだ!
- ・液体嚥下と咀嚼嚥下 ~口腔機能から判断する食形態選択のキモ~
- ・咀嚼訓練のススメ ~常食化を目指した調整食アップとそのパターンをつかもう~



Program

"口から食べる"を諦めないための口腔機能トレーニングの実際

- ・口腔の運動量を確保するトレーニング法 ~気を付けたい代償動作のチェックポイント~
- ・困った・・でも大丈夫! 認知症・高次脳機能障害でもできる口腔運動の工夫
- ・まさにココが多職種連携!歯科医・看護師・言語聴覚士から得るべき厳選情報はコレ



Program 3

これで迷わない! 嚥下機能別に設定する食事姿勢と調整法

- ・ここがポイント!摂食時における姿勢の調整法
 - ~垂直座位・リクライニング座位・完全側臥位法の特徴と使い分け~
- ・重度の摂食嚥下障害に対する完全側臥位法
 - ~ 唾液誤嚥を防ぎつつ行う口腔ケア・咽頭ケアの実際~
- ・食事姿勢でこんなに変わる咀嚼 ~常食を目指す訓練の実践法~



上記各1講座の受講で離床アドバイザー習得コースの理論コース単位1単位を取得できます。

申込方法

① ホームページよりオンライン登録

お問い合わせ・お申込先







